

# 景 気 動 向 調 査

(第 189 回)

2018 年 4 月～ 6 月期実績

2018 年 7 月～ 9 月期予測

株式会社 北日本銀行

経 営 企 画 部

## 目 次

調査要領	.....	1
概 況	.....	2
1. 県内景況感について	.....	4
2. 業況について		
(1) 売上高または出荷高	.....	5
(2) 仕入高または生産高	.....	6
(3) 在 庫	.....	7
(4) 収 益	.....	8
(5) 販売価格・仕入価格	.....	9
3. 設備投資の動向について		
(1) 設備投資の実施状況	.....	10
(2) 設備投資の目的	.....	11
4. 資金繰り状況について		
(1) 資金繰り状況	.....	12
(2) 現金・預金	.....	13
(3) 金融機関借入	.....	13
(4) 販売代金回収期間	.....	14
(5) 仕入代金決済期間	.....	14
5. 経営上の問題点について	.....	15

## 調 査 要 領

この報告は、岩手県内企業各社のご協力をもとに、下記の要領により景気動向の調査を行ったものです。

### 記

1. 実施時期 2018年6月下旬～2018年7月中旬
2. 調査対象期間 2018年4月～6月期実績  
2018年7月～9月期予測
3. 調査の方法 郵送による無記名のアンケート方式（年間4回）
4. 対象先 岩手県内企業 283社
5. 回答数 147通（回答率 51.94 %）  
※内訳 製造業 50社 建設業 34社 卸・小売業 63社
6. 調査の主要項目 ・業況について  
・設備投資の動向について  
・資金繰りの状況について  
・当面する経営上の問題点について

以 上

#### 【本文用語説明】

- ①「増加」～グラフ上の「増加」および「やや増加」
  - ②「減少」～グラフ上の「減少」および「やや減少」
  - ③ D I（ディフュージョン・インデックス）～  
「景気動向指数」のことで、各項目について「増加」（増加およびやや増加）と回答した企業の比率から「減少」（減少およびやや減少）と回答した企業の比率を減じた数値である。この値が「0」の場合は、「増加」と「減少」が等しいことを示し、プラスとなるほど「増加」が多く、マイナスになるほど「減少」が多いことを意味する。
- （注）「上昇・低下」「楽になった・苦しくなった」「長くなった・短くなった」の回答についても同様に読み替える。  
ただし、「販売代金回収期間」については、「短くなった」－「長くなった」で算出している。

## 概 況

2018年4～6月期の岩手県内企業の景況感D Iは、全体で△47.9と前期（2018年1月～3月期）△46.2と比較し、1.7ポイント低下した。  
2018年7～9月期は、景況感個別項目はバラつきが見られるものの低下幅は縮小であり、全体感は上昇する見通しとなっている。

D I（景気動向指数）推移

全業種ベース	4～6月期実績	7～9月期見通し
景況感	△47.9	△36.5 ↑
売上高・出荷高	△19.6	△6.3 ↑
収益	△25.9	△15.4 ↑
販売価格	6.2	4.2 ↓
仕入価格	33.8	29.4 ↓
資金繰り	△5.6	△11.2 ↓

・岩手県内企業「景況感D I」ワーストランキング

	調査回次	対象期間	景況感D I
1	第153回	09年1～3月	△92.7
2	第152回	08年10～12月	△91.3
3	第124回	01年10～12月	△91.2
4	第109回	98年1～3月	△90.6
5	第111回	98年7～9月	△90.0

（1971（昭和46）年以降）

<岩手県の参考データ>

・有効求人倍率の推移

平成30年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.45	1.44										

平成29年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.42	1.40	1.42	1.41	1.36	1.40	1.40	1.44	1.45	1.46	1.42	1.45

・新設住宅着工戸数の推移

平成30年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
955	685										

平成29年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
699	633	617	781	638	757	764	810	652	624	486	563

## 1. 県内景況感について

全体のD Iは、 $\Delta 47.9$ であった。

各業種別のD Iをみると、製造業が $\Delta 44.8$ 、建設業が $\Delta 35.3$ 、卸・小売業が $\Delta 57.1$ と、前回調査時と比べて景況感は、製造業と卸・小売業は低下、建設業は上昇した。

7~9月期見通しでは、製造業が $\Delta 32.7$ 、建設業が $\Delta 30.4$ 、卸・小売業は $\Delta 42.8$ と、製造業と建設業は上昇、卸・小売業は低下する見通しとなっている。

## 2. 業況について

### (1) 売上高または出荷高

D Iは、全体では $\Delta 19.6$ であった。業種別では、製造業が $\Delta 22.5$ 、建設業が $\Delta 14.7$ 、卸・小売業が $\Delta 23.3$ である。

### (2) 仕入高または生産高

製造業の生産高はD Iが $\Delta 2.0$ 、卸・小売業の仕入高は $\Delta 18.9$ となった。

### (3) 在庫

製造業の製品在庫D Iは4.1、卸・小売業の商品在庫は $\Delta 31.0$ となった。

### (4) 収益

D Iは、全体では $\Delta 25.9$ であった。業種別では、製造業が $\Delta 32.6$ 、建設業が $\Delta 23.6$ 、卸・小売業が $\Delta 21.7$ である。

### (5) 販売価格・仕入価格

販売価格は6.2、仕入価格は33.8であった。

## 3. 設備投資の動向について

全体でみると、設備投資を「実施した」企業は28.3%となっている。

業種別では、製造業が27.7%、建設業が26.5%、卸・小売業が28.1%である。

設備投資の目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」がトップとなり「生産・販売能力の増加」が2位、「省力化・合理化」が3位となった。

## 4. 資金繰り状況について

D Iは、全体では $\Delta 5.6$ であった。業種別では、製造業が $\Delta 8.1$ 、建設業が6.0、卸・小売業が $\Delta 6.7$ である。

## 5. 経営上の問題点について

全業種合計では、「売上・受注不振」、「人手不足」、「原材料・仕入価格高」が上位を占めている。

# 1. 県内景況感について

～ 実績は、製造業と卸・小売業は低下、建設業は上昇した ～

**[4～6月期の実績]** 県内の景況感（前年同期比）をみると、全業種では「良い」と答えた企業が6.2%（前期5.5%）、「悪い」が54.1%（同51.7%）で、DIは△47.9（同△46.2）と、前期に比べて1.7ポイント低下した。

業種別の景況感（DI）をみると、製造業が△44.8（同△43.5）、建設業が△35.3（同△45.5）、卸・小売業が△57.1（同△48.5）となっており、製造業と卸・小売業は低下、建設業は上昇した。

**[7～9月期の見通し]** 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「良くなる」とみる企業が12.4%、「悪くなる」が48.9%であることから、DIは△36.5となり、4～6月期実績と比較して、全体感は上昇する見通しとなっている。

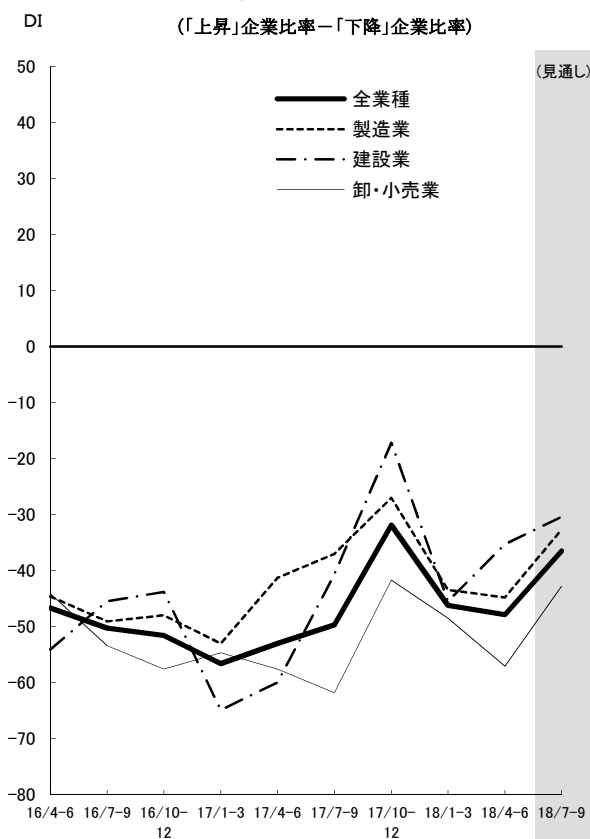
業種別にみると、製造業が△32.7、建設業が△30.4、卸・小売業が△42.8となっており、製造業と建設業は上昇、卸・小売業は低下する見通しとなっている。

県内景況感(前年同期比)

		(%)					DI
	期	良い	やや良	不変	やや悪	悪い	
全業種	4～6月 (実績)	0.0	6.2	39.7	43.8	10.3	-47.9
	7～9月 (見通し)	0.7	11.7	38.7	38.6	10.3	-36.5
(製造業)	4～6月 (実績)	0.0	8.2	38.8	36.7	16.3	-44.8
	7～9月 (見通し)	0.0	12.2	42.9	26.5	18.4	-32.7
(建設業)	4～6月 (実績)	0.0	8.8	47.1	35.3	8.8	-35.3
	7～9月 (見通し)	3.0	18.2	27.2	45.5	6.1	-30.4
(卸・小売業)	4～6月 (実績)	0.0	3.2	36.5	54.0	6.3	-57.1
	7～9月 (見通し)	0.0	7.9	41.4	44.4	6.3	-42.8

県内景況感(前年同期比)

(「上昇」企業比率-「下降」企業比率)



## 2. 業況について

### (1) 売上高または出荷高

～ 実績は全業種でほぼ横ばい ～

**[4～6月期の実績]** 売上高・出荷高実績(前年同期比)をみると、全業種では「増加」と答えた企業が30.1%(前期29.6%)、「減少」が49.7%(同51.4%)となり、DIは、 $\Delta 19.6$ (同 $\Delta 21.8$ )と2.2ポイント上昇した。

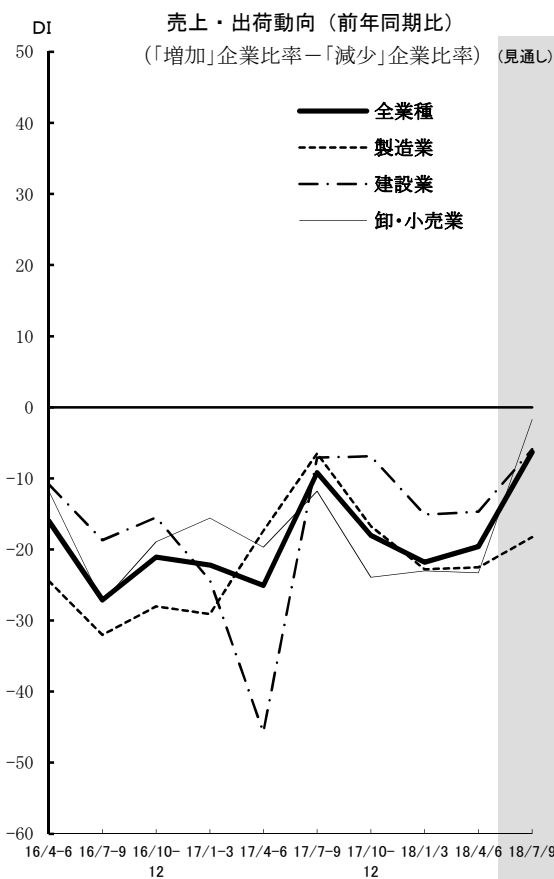
業種別にDIをみると、**製造業** $\Delta 22.5$ (前期 $\Delta 22.8$ )、**建設業** $\Delta 14.7$ (同 $\Delta 15.1$ )、**卸・小売業**は $\Delta 23.3$ (同 $\Delta 23.0$ )となっており、全業種でほぼ横ばいであった。

**[7～9月期の見通し]** 7～9月期見通し(前年同期比)をみると、全業種では「増加」とみる企業が28.7%、「減少」が35.0%であることから、DIは $\Delta 6.3$ となり4～6月期実績と比較して、やや低下する見通しとなっている。

業種別にDIをみると、**製造業**で $\Delta 18.3$ 、**建設業**で $\Delta 5.9$ 、**卸・小売業**で $\Delta 1.7$ となっており製造業と卸・小売業は低下、建設業は上昇する見通しとなっている。

売上高または出荷高(前年同期比)

		(% )					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
全業種	4～6月 (実績)	7.7	22.4	20.2	37.1	12.6	-19.6
	7～9月 (見通し)	6.3	22.4	36.3	28.0	7.0	-6.3
(製造業)	4～6月 (実績)	6.1	20.4	24.5	32.7	16.3	-22.5
	7～9月 (見通し)	4.1	18.4	36.7	34.7	6.1	-18.3
(建設業)	4～6月 (実績)	8.8	20.6	26.5	29.4	14.7	-14.7
	7～9月 (見通し)	2.9	23.5	41.3	23.5	8.8	-5.9
(卸・小売業)	4～6月 (実績)	6.7	23.3	16.7	45.0	8.3	-23.3
	7～9月 (見通し)	6.7	23.3	38.3	25.0	6.7	-1.7



## (2) 仕入高または生産高

### ～ 実績は製造業は上昇、卸・小売業は低下 ～

**[4～6月期の実績]** 仕入高・生産高実績（前年同期比）をみると、**製造業**（生産高）では「増加」と答えた企業が34.7%（前期34.1%）、「減少」が36.71%（同45.5%）でありDIは△2.0（同△11.4）と9.4ポイント上昇した。

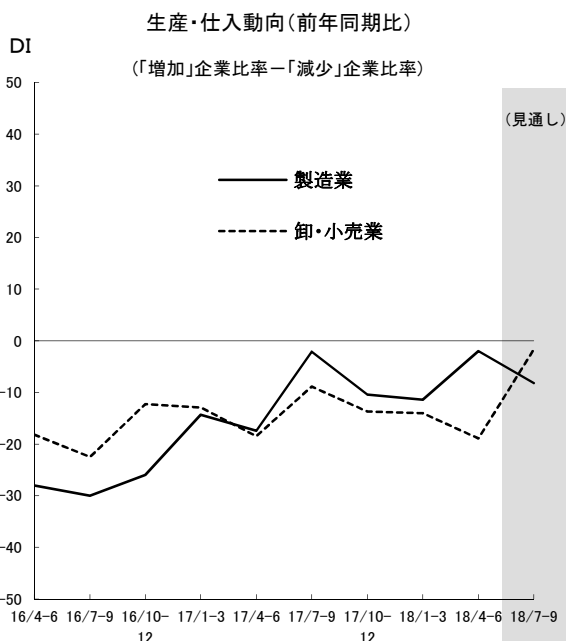
**卸・小売業**（仕入高）では「増加」と答えた企業は29.3%（前期29.7%）、「減少」が48.2%（同43.7%）で、DIは△18.9（同△14.0）と4.9ポイント低下した。

**[7～9月期の見通し]** 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、**製造業**（生産高）については「増加」と答えた企業が26.5%、「減少」が34.7%であることから、DIは、△8.2で、4～6月期実績と比較して、17.3ポイント低下する見通しとなっている。

**卸・小売業**（仕入高）については、「増加」と答えた企業が25.4%、「減少」が27.1%であることから、DIは△1.7で、4～6月期実績と比較し上昇する見通しとなっている。

生産高または仕入高(前年同期比)

		(%)					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
(製造業)	4～6月 (実績)	4.1	30.6	28.6	24.5	12.2	-2.0
	7～9月 (見通し)	4.1	22.4	38.8	32.7	2.0	-8.2
(卸・小売業)	4～6月 (実績)	3.4	25.9	22.5	37.9	10.3	-18.9
	7～9月 (見通し)	3.4	22.0	47.5	22.0	5.1	-1.7





### (3) 在庫

#### ～ 在庫実績は製造業は増加、卸・小売業は減少 ～

**[4～6月期の実績]** 在庫状況実績（前年同期比）をみると、製造業では、製品在庫が「増加」と答えた企業は24.5%（前期15.9%）、「減少」が20.4%（同31.8%）であることから、DIは4.1（同△15.9）となった。また、製品在庫水準については、「過大」が17.3%（同9.5%）、「適正」が65.3%（同71.4%）、「不足」が17.4%（同19.1%）である。

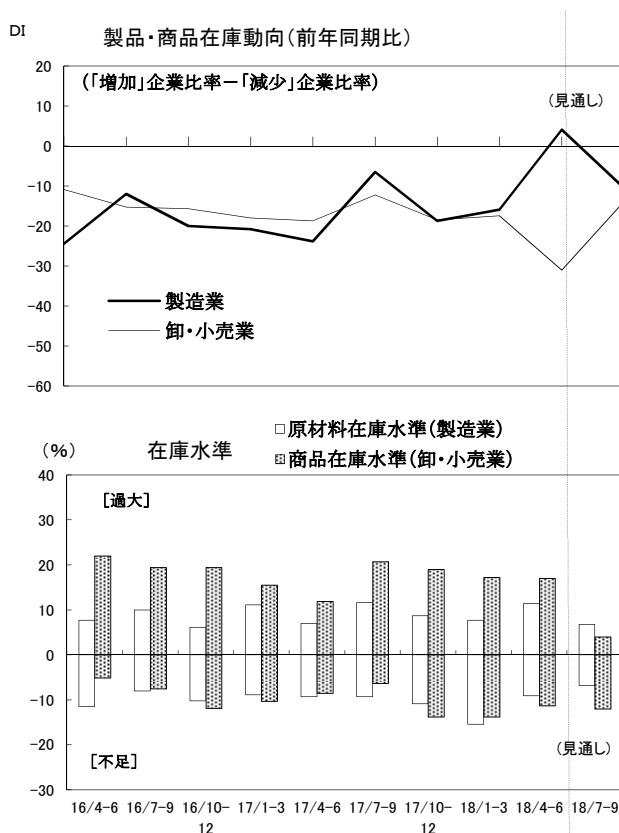
卸・小売業の商品在庫は、「増加」と答えた企業が8.6%（前期12.7%）、「減少」は39.6%（同30.1%）であることから、DIは△31.0（同△17.4）となった。また、商品の在庫水準については「過大」が17.0%（同17.2%）、「適正」が71.7%（同69.0%）、「不足」が11.3%（同13.8%）である。

**[7～9月期の見通し]** 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、製造業の製品在庫は、「増加」とみる企業が12.5%、「減少」が23.0%で、DIは△10.5となっている。また、同じく製品在庫水準については「過大」とみる企業が13.9%、「適正」が76.8%、「不足」が9.3%である。

卸・小売業の商品在庫については、「増加」とみる企業が10.3%、「減少」が24.2%であることから、DIは△13.9となっている。また、同じく商品の在庫水準については「過大」とみる企業が4.0%、「適正」が84.0%、「不足」が12.0%である。

製品・商品在庫（前年同期比）

		（%）						
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI	
（製造業）	4～6月 （実績）	6.1	18.4	55.1	18.4	2.0	4.1	
	7～9月 （見通し）	4.2	8.3	64.5	16.7	6.3	-10.5	
（卸・小売業）	4～6月 （実績）	1.7	6.9	51.8	31.0	8.6	-31.0	
	7～9月 （見通し）	1.7	8.6	65.5	19.0	5.2	-13.9	



#### (4) 収 益

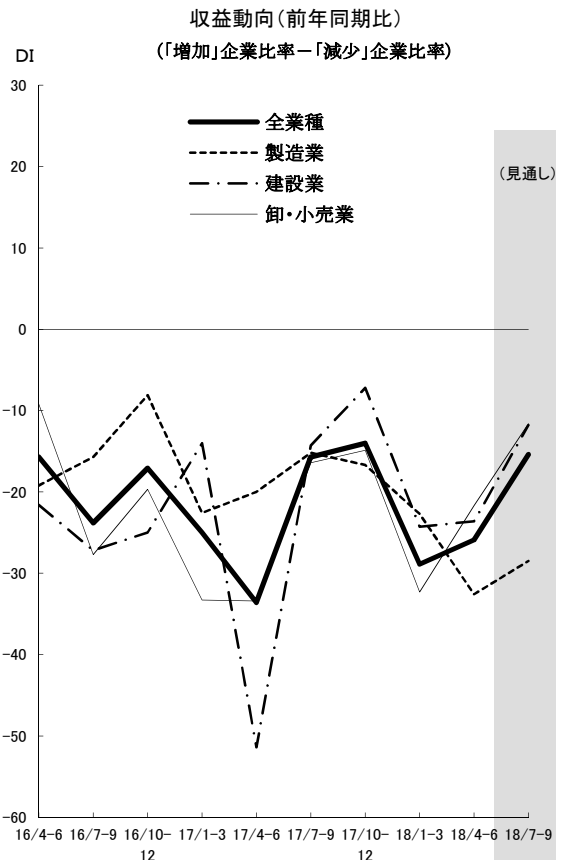
～ 実績は製造業は低下、建設業、卸・小売業は上昇 ～

**[4～6月期の実績]** 収益動向実績（前年同期比）をみると、全業種では「増加」と答えた企業が25.2%（前期22.5%）、「減少」が51.1%（同51.4%）であり、DIは、△25.9（同△28.9）となり、3.0ポイント上昇した。  
業種別にDIをみると、**製造業△32.6**（前期△22.7）、**建設業△23.0**（同△24.3）、**卸・小売業△21.7**（同△32.3）となっており、**製造業は低下、建設業、卸・小売業は上昇した。**

**[7～9月期の見通し]** 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「増加」とみる企業が22.4%、「減少」とみる企業も37.8%であることから、DIは△15.4で、4～6月期実績と比較してほぼ横ばいに推移する見通しである。  
業種別にDIをみると、**製造業△28.5**、**建設業△11.8**、**卸・小売業△11.6**で、4～6月期実績と比較して、**製造業・卸・小売業は低下、建設業は上昇する見通しである。**

収 益(前年同期比)

		（％）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	4～6月 (実績)	2.8	22.4	23.7	38.5	12.6	-25.9
	7～9月 (見通し)	3.5	18.9	39.8	30.1	7.7	-15.4
(製造業)	4～6月 (実績)	4.1	18.4	22.4	40.8	14.3	-32.6
	7～9月 (見通し)	4.1	14.3	34.7	36.7	10.2	-28.5
(建設業)	4～6月 (実績)	2.9	20.6	29.4	26.5	20.6	-23.6
	7～9月 (見通し)	2.9	17.6	47.2	23.5	8.8	-11.8
(卸・小売業)	4～6月 (実績)	1.7	25.0	24.9	41.7	6.7	-21.7
	7～9月 (見通し)	1.7	20.0	45.0	28.3	5.0	-11.6



(5) 販売価格・仕入価格

～ 実績は販売価格、仕入価格ともに上昇 ～

**[4～6月期の実績]** 販売価格（前年同期比）をみると、全業種では「上昇」と答えた企業が18.6%（前期13.1%）、「低下」が12.4%（同15.2%）であることから、DIは6.2（同△2.1）と上昇した。

仕入価格（前年同期比）は、全業種では「上昇」と答えた企業が39.3%（前期33.7%）「低下」が5.5%（同4.8%）であることから、DIは33.8（同28.9）と上昇した。

**[7～9月期の見通し]** 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、販売価格については「上昇」とみる企業が16.8%、「低下」とみる企業が12.6%であることから、DIは4.2と上昇する見通しとなっている。

仕入価格については、「上昇」とみる企業が35.7%、「低下」とみる企業が6.3%であることからDIは29.4と上昇する見通しとなっている。

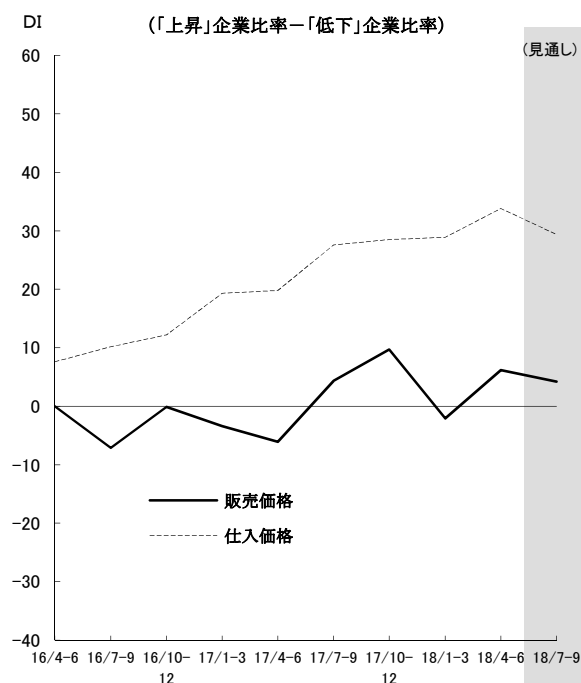
販売価格(前年同期比)

		（%）						
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	DI	
全業種	4～6月 (実績)	1.4	17.2	69.0	11.0	1.4	6.2	
	7～9月 (見通し)	0.7	16.1	70.6	11.2	1.4	4.2	

仕入価格(前年同期比)

		（%）						
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	DI	
全業種	4～6月 (実績)	6.9	32.4	55.2	4.8	0.7	33.8	
	7～9月 (見通し)	4.2	31.5	58.0	5.6	0.7	29.4	

価格動向(前年同期比)  
(「上昇」企業比率-「低下」企業比率)



### 3. 設備投資の動向について

#### (1) 設備投資の実施状況

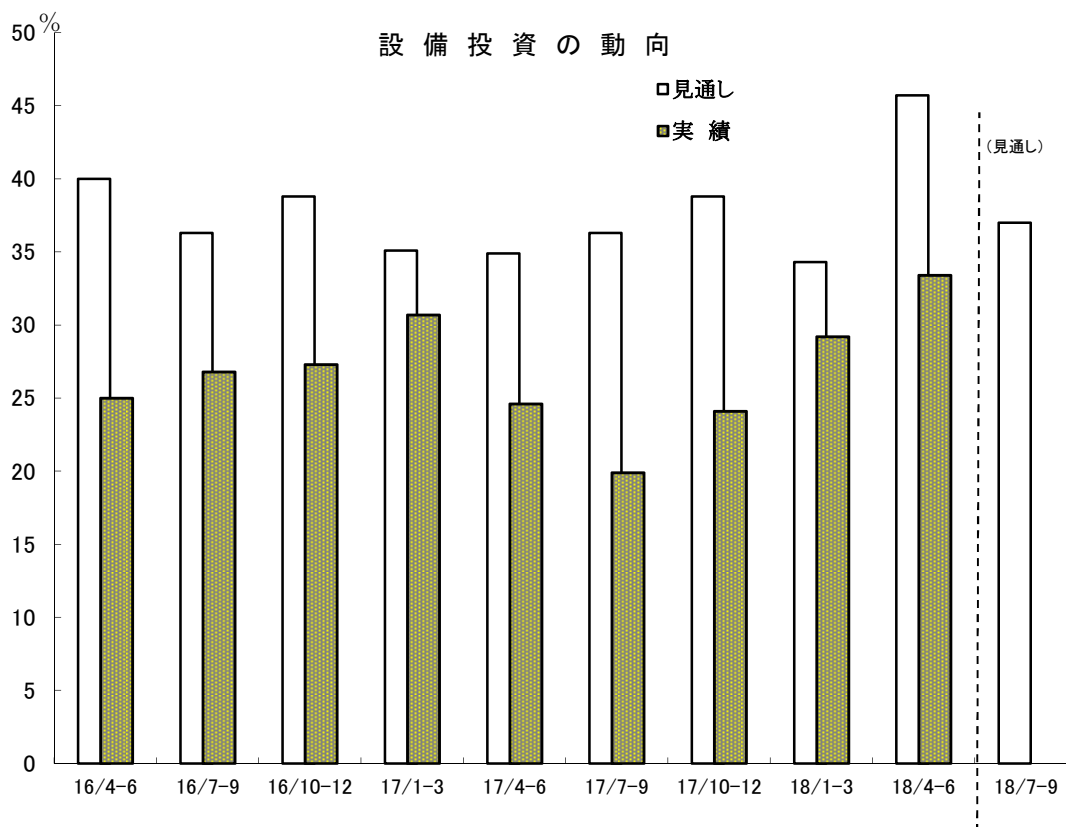
～ 実績は製造業と建設業は増加、卸・小売業は減少 ～

**[4～6月期の実績]** 設備投資の実施状況をみると、**全業種**では「実施した」および「計画を縮小して実施した」と答えた企業は33.4%（前期29.2%）と前期比増加した。

これを業種別にみると、**製造業**34.1%（前期25.0%）、**建設業**32.4%（同21.9%）、**卸・小売業**31.6%（同36.1%）であり、**製造業と建設業は増加、卸・小売業は減少**した。

**[7～9月期の見通し]** 今後3ヵ月の設備投資について、**全業種**では「具体的な計画がある」と答えた企業は全体で22.5%（前期23.2%）、「計画はあるが具体化していない」は14.5%（同22.5%）、「計画はない」は63.0%（同54.3%）であった。「計画あり」は合計37.0%となっている。

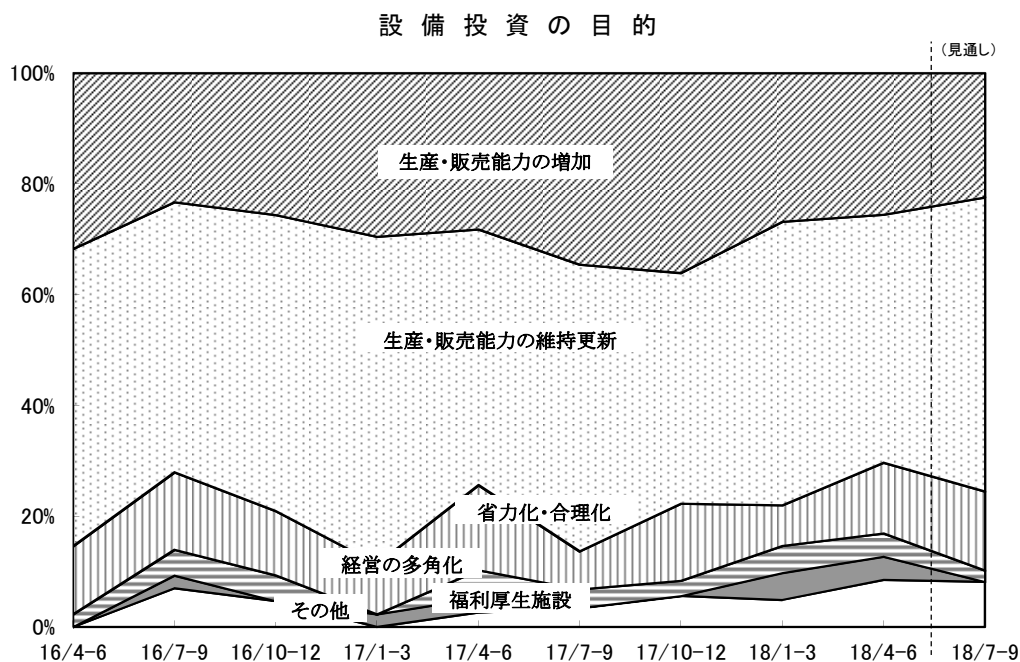
業種別にみると、「具体的な計画がある」および「計画はあるが具体化していない」と答えた企業は、**製造業**で40.3%（前期53.5%）、**建設業**で33.4%（同40.6%）、**卸・小売業**で34.5%（同41.3%）の見通しとなっている。



## (2) 設備投資の目的

**[4～6月期の実績]** 今回の調査で「設備投資を実施した」と答えた企業(28.3%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が45.7%（前期51.2%）でトップとなり「生産・販売能力の増加」が26.1%（同26.8%）で2位となった。業種別で見ると、**全業種**において「生産・販売能力の維持」がトップであった。

**[7～9月期の見通し]** 今後3ヵ月の設備投資について、「計画あり」と答えた企業(22.5%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が56.5%でトップとなり、以下、「生産・販売能力の増加」23.9%、「省力化・合理化」が15.2%で3位となっている。



## 4. 資金繰り状況について

### (1) 資金繰り状況

～ 実績は製造業と卸・小売業は低下、建設業は上昇 ～

[4～6月期の実績] 資金繰り状況（前期比）は、全業種では、「楽になった」とする企業が18.9%（前期23.9%）、「苦しくなった」が24.5%（同23.2%）であることから、D Iは△5.6（同0.7）と低下した。

業種別にD Iをみると、製造業が△8.1（前期△4.6）、建設業が6.0（同3.0）、卸・小売業は△6.7（同1.6）と、製造業と卸・小売業は低下、建設業は上昇した。

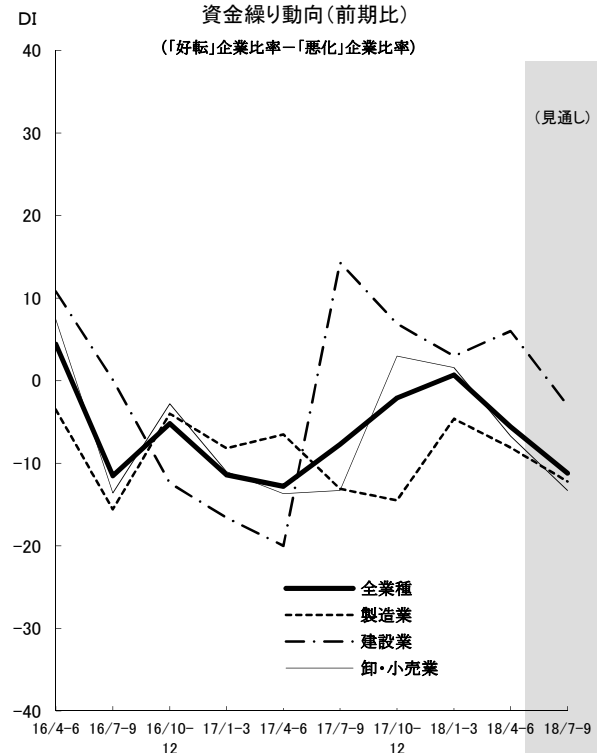
[7～9月期の見通し] 7～9月期の見通し（当期比）をみると、全業種では「楽になる」とみる企業が14.8%、「苦しくなる」が26.0%で、D Iは△11.2となり、4～6月期実績と比較して、低下する見通しとなっている。

業種別にD Iをみると、製造業△12.2、建設業△3.0、卸・小売業△13.3となっており、製造業、卸・小売業が低下、建設業が上昇する見通しとなっている。

資金繰り(前期比)

		（％）					D I
	期	楽	やや楽	不変	やや苦	苦	
全業種	4～6月 （実績）	3.5	15.4	56.6	20.3	4.2	-5.6
	7～9月 （見通し）	2.1	12.7	59.2	21.1	4.9	-11.2
（製造業）	4～6月 （実績）	4.1	20.4	42.9	22.4	10.2	-8.1
	7～9月 （見通し）	4.1	14.3	51.0	20.4	10.2	-12.2
（建設業）	4～6月 （実績）	5.9	11.8	70.6	8.8	2.9	6.0
	7～9月 （見通し）	0.0	15.2	66.6	15.2	3.0	-3.0
（卸・小売業）	4～6月 （実績）	1.7	13.3	63.3	21.7	0.0	-6.7
	7～9月 （見通し）	1.7	10.0	63.3	23.3	1.7	-13.3

資金繰り動向(前期比)  
（「好転」企業比率-「悪化」企業比率）



## (2) 現金・預金

**[4～6月期の実績]** 現金・預金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が18.6%（前期13.8%）、「減少した」が33.1%（前期35.2%）であることからDIは△14.5（同△21.4）と上昇した。

**[7～9月期の見通し]** 7～9月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が16.7%、「減少する」が30.6%であることから、DIは△13.9と低下する見通しとなっている。

## (3) 金融機関借入

**[4～6月期の実績]** 金融機関借入金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が14.1%（前期20.9%）、「減少した」が35.2%（同37.4%）であることからDIは△21.1（同△16.5）と低下した。

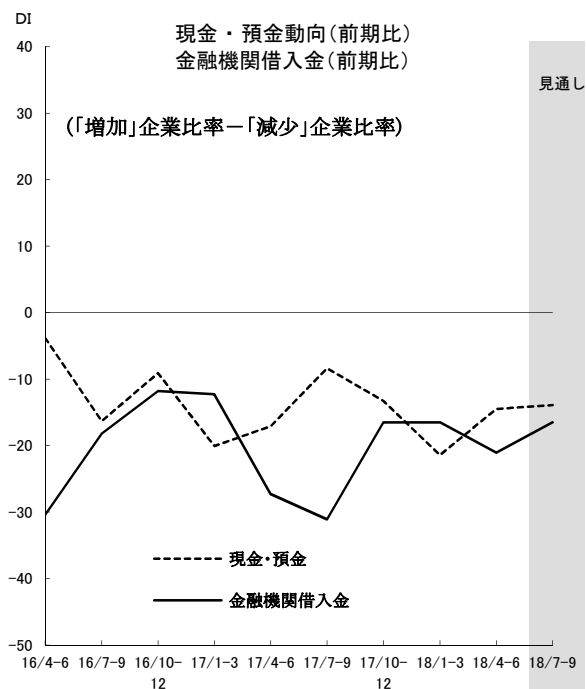
**[7～9月期の見通し]** 7～9月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が15.1%、「減少する」が31.6%であることから、DIは△16.5とやや上昇する見通しとなっている。

現金・預金(前期比)

		(%)						
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI	
全業種	4～6月 (実績)	1.4	17.2	48.3	28.3	4.8	-14.5	
	7～9月 (見通し)	1.4	15.3	52.7	25.7	4.9	-13.9	

金融機関借入金(前期比)

		(%)						
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI	
全業種	4～6月 (実績)	2.8	11.3	50.7	29.6	5.6	-21.1	
	7～9月 (見通し)	2.2	12.9	53.3	27.3	4.3	-16.5	



#### (4) 販売代金回収期間

**[4～6月期の実績]** 販売代金回収期間（前期比）については、「短くなった」とする企業が2.8%（前期2.8%）、「長くなった」が7.6%（同7.6%）であることから、DIは△4.8（同△4.8）となった。また89.6%（同89.6%）の企業は「変わらない」としている。

**[7～9月期の見通し]** 7～9月期の見通し（当期比）をみると、「短くなる」とみる企業が0.7%、「長くなる」が8.3%であることから、DIは△7.6となる。また、91.0%の企業は「変わらない」とみている。

#### (5) 仕入代金決済期間

**[4～6月期の実績]** 仕入代金決済期間（前期比）については「長くなった」とする企業が0.0%（前期0.7%）、「短くなった」が4.9%（同2.1%）であることから、DIは△4.9（前期△1.4）となった。また、95.1%（前期97.2%）の企業は「変わらない」としている。

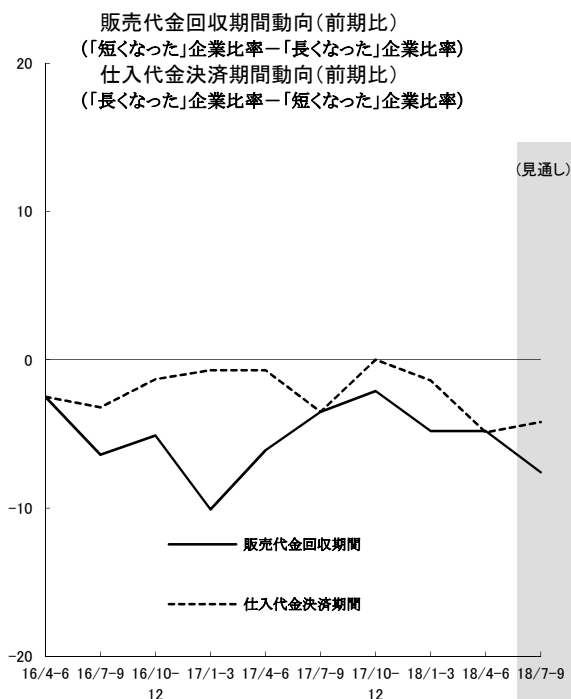
**[7～9月期の見通し]** 7～9月期の見通し（当期比）をみると、「長くなる」とみる企業が0.0%、「短くなる」が4.2%であることから、DIは△4.2となる。また、95.8%の企業は「変わらない」とみている。

販売代金回収期間(前期比)

		（％）					DI
	期	短く	やや短	不変	やや長	長く	
全業種	4～6月 (実績)	0.7	2.1	89.6	7.6	0.0	-4.8
	7～9月 (見通し)	0.0	0.7	91.0	7.6	0.7	-7.6

仕入代金決済期間(前期比)

		（％）					DI
	期	長く	やや長	不変	やや短	短く	
全業種	4～6月 (実績)	0.0	0.0	95.1	4.9	0.0	-4.9
	7～9月 (見通し)	0.0	0.0	95.8	3.5	0.7	-4.2





## 5. 経営上の問題点について

～ 経営上の問題は全業種「売上・受注不振」と「人手不足」～

4～6月期における経営上の問題点をみると、全業種では「売上・受注不振」22.9%（前期19.6%）、「人手不足」17.3%（前期20.4%）、「原材料・仕入価格高」13.2%（同9.4%）となっている。

業種別に上位3項目をみると、**製造業**では「売上・受注不振」が24.7%で1位、「原材料・仕入価格高」が19.1%で2位、「人手不足」が16.9%と3位となった。  
**建設業**では「人手不足」が27.6%で1位となり、「売上・受注不振」が10.3%で2位、「**過当競争**」が10.3%で3位となった。  
**卸・小売業**では「売上・受注不振」が23.7%で1位、「人手不足」が13.2%で2位、「原材料・仕入価格高」が12.3%で3位となっている

### 経営上の問題点

(2項目以内複数回答可)

